

取組名称：三重大ブランドの環境人材養成プログラム
大学名：三重大学

● **取組の内容・ポイント**

「環境資格支援教育プログラム」
 (H19年度より実施)

地域に認められる環境人財の養成



「国際環境教育プログラム」
 (H20年度より実施)

国際的に通用する環境人財の養成



H22年度計画

「世界一の環境先進大学三重大学の
 国際生物多様性週間(2010.10.13—19)」

1. 平成21年度の「環境資格支援教育プログラム」関連科目：受講生数2,659名(全学部生数(6,200名)の約42.9%)、単位取得者は2,123名(全学部生数の約34.2%)
2. 平成21年度の「環境内部監査員養成セミナー」開講：学生38名に対して環境内部監査員の資格付与、平成22年度現在学生環境内部監査員登録者数77名
1. 「環境インターンシップ」受け入れ先の拡大：10の企業(シャープ株式会社、中部電力株式会社など)、行政(三重県など)、団体(商工会議所など)、NPO法人(三重県地球温暖化防止活動推進センターなど)
2. 平成21年度の「環境資格支援教育プログラム」修了者：16名(4年生1名・2年生10名・1年生5名)

● **取組の成果**

1. 「実践英語特別授業」の実施(毎週木曜日)：英語で専門知識勉強できるような基礎取得と国際的な場でコミュニケーションする能力の強化
2. 「国際環境インターンシップ」の受け入れ先の拡大：韓国の16の企業(三星、現代、LGなど)や団体、NPO法人(韓国環境教育推進連合など)、国連関連機関(ユネスコ、国連気候変動枠組条約、国連生物多様性条約など)
3. 「国際環境インターンシップ」の実施：国連気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15;H21年12月7—18日、デンマーク・コペンハーゲン)に学生4名派遣
4. 国際環境教育ワークショップ及び国際環境シンポジウムの開催(平成21年10月23日)：「アジア・太平洋大学環境教育コンソーシアム」の構築、当時7カ国23大学から平成22年度現在8カ国33大学へ拡大

1. COP10の期間中に三重大学環境教育ブースの設置
2. アジア・太平洋子ども&ユース環境会議
3. 「アジア・太平洋大学環境コンソーシアム」の1周年記念国際環境教育シンポジウムの開催

- ◆ H21.6.4: 晴れ舞台へ英語特訓三重大環境学生委デンマーク12月開催COP15に参加【中日新聞】
- ◆ H21.10.24: アジア・太平洋地域23大学環境共同事業体に合意【読売新聞】、環境教育で国際協力三重大中心、7カ国23大学【中日新聞】、環境教育で連帯三重大が事務局7カ国23大学【朝日新聞】、環境教育で連携三重大で計画報告7カ国の23大学【伊勢新聞】
- ◆ H21.11.26: 三重大生、COP15参加就業体験の一環【読売新聞】、三重大生いざ国連会議へ来月、デンマークでCOP15【中日新聞】、三重大生4人がCOP15に参加来月デンマーク【毎日新聞】、来月、コペンハーゲンで「COP15」三重大生4人が参加【伊勢新聞】
- ◆ H22.1.19: 三重大生ら国際勉強会世界の若者と環境考える【中日新聞】
- ◆ H22.1.28: 環境に良いことをCOP10にオブザーバーとして参加三重大学生4人【毎日新聞】



● **学内外からの評価**

○取組概要: 本取組は、「環境資格支援教育プログラム」の充実化や「国際環境教育プログラム」の確立と実施による優れた環境人材を育成し、プログラム修了時に取得できる学内環境資格を、地域に根ざし世界に通用する三重大ブランドの環境資格として育て上げることで、質の高い環境教育プログラムの構築と環境PDCAシステムの確立を目的としています。「三重大ブランドの環境人材養成プログラム」ホームページ: <http://mie-brand.ee.gp.mie-u.ac.jp/>